

こっこめ通信 02 2014

「未来に続け」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

1月下旬になるとアロエの花は、終わりに近づくの、今年はまだ蕾がたくさん残っています。また、いつもならばこの時期に聞こえるウグイスのさえずりも、公園内ではまだ聞こえてきません。気象庁が発表している気象データを見比べると、平年とはあまり変わりはないようです。どうしてでしょうか？早ければ2月下旬に咲き始めるオオシマザクラの花。お花見の行事もあるので、咲き始めはいつ頃になるか、少し気になります。

さて、今回は「スミレの横顔を比べてみた」「クロアシアホウドリの繁殖を確認」についてのお話です。

スミレの横顔を比べてみた

スミレの仲間は可愛い花なので正面から見る人が多いと思います。正面から見ると違いがはっきりとしないスミレも、横から見ると違いがはっきり分かります。今回は島で確認している5種+αを見比べてみました。



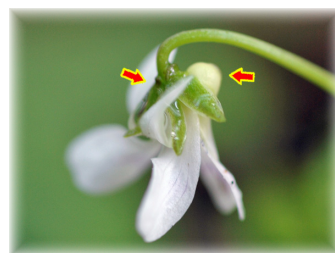
シチトウスミレ



アツバスミレ



ノジスミレの仲間



ツボスミレ



シチトウスミレ (白花)



ヒメスミレ

横顔で違いが出るのが花の後ろの出っ張った『距』と呼ばれる部分です。種によって形や大きさ、色などが違います(シチトウスミレの距はかなり個体差がありました)。よく見るとがく片の幅や長さ、色の濃さにも違いがあります。

スミレの仲間は、地上茎の有無や側弁基部の毛の有無なども見分けるポイントになりますね。

また、上の写真のノジスミレの仲間は、以前はコスミレと紹介していましたが、間違いであることが分かりました。ノジスミレの微毛がないケナシノジスミレといわれる品種もあるようですが、詳細が不明のためノジスミレの仲間としています。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

クロアジアホウドリの繁殖を確認

クロアジアホウドリが八丈島の北西にある無人島、八丈小島に降り立っていることを知ったのは2013年4月18日。こっこめ通信2013年5月号で詳細を紹介しました。あれから半年後、クロアジアホウドリは八丈小島に舞い戻ってきました。

秋になってクロアジアホウドリを初めて確認したのは、2013年10月30日。八丈小島にはイタチやヘビはいませんが、ネズミ類が生息しているので、そのネズミの捕獲調査のために上陸した時でした。この時に確認されたのは1羽だけ。その後、都の鳥獣保護員の森由香氏が何度か上陸調査をしたところ、徐々に戻ってくる数が増えていることがわかりました。12月8日にはアホウドリの亜成鳥が上空を旋回し、近くの海に着水したのも確認したそうです。そして12月31日に、抱卵しているらしい個体を確認。年が明けた1月6日、東京大学名誉教授の樋口広芳氏と共に伊豆諸島自然史研究会のメンバーが上陸し、2つがい卵を暖めていることを確認しました。残念ながら割れてしまった卵も1つ見つかりました(写真二段目)。卵を温めている2羽以外にも、20羽近くが上空を旋回したり、舞い降りたりしていました。海上では、コアホウドリの滑空する姿も見られました。

この時抱卵していたのはメス。周りの枯れ葉を集めた巣の上でじっと卵を温めていました(写真三段目)。卵は100mm×70mmほどの大きさ、大人の男性の手のひらにちょうど乗るサイズ。淡黄褐色で褐色の斑が少し見られました。オスとメスは一週間交替で卵を暖め、約60日で孵化するそうです。順調にいけば2月下旬頃までには雛が誕生するはずです。

また、今回は右足に青い【M997】、左足にアルミの足環のついたクロアジアホウドリも見つかりました(写真四段目)。足環から2009年5月19日に小笠原諸島聳島で標識放鳥した個体と判明しました。年齢はちょうど繁殖を始める5歳になります。足環が確認できたのはこの個体と右足にアルミの足環が付いていた個体だけ。聳島では30年以上前から足環を付ける事業を行っているので、八丈小島に降り立った足環の付いていない若いクロアジアホウドリは鳥島で生まれたのではないかと考えられます。(生涯一夫婦で、巣は同じ場所を使い続ける)

そして今シーズンに繁殖をしていない鳥たちは、集団お見合いのように、繁殖相手を探していました(写真一番下)。中には相手が見つかり、求愛ディスプレイを行っているペアや来年のために巣の場所を決め、産座を作って準備をしているペアの姿も見られました。産座を作ったペアは来年に期待が持てます。

今年の産卵は3つがいだけでしたが、これはまだ始まりに過ぎません。雛たちが無事に巣立つ6月まではしっかりと見守り、来年以降さらにたくさんのクロアジアホウドリたちが産卵してくれることを願います。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。2014年1回目の調査は1月12日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成26年第1回）参加者：沖山、黒田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本		
1	アオノクマタケラン	熟した実	1	アオキ	実
2	アシタバ	見	2	イヌビワ	実
3	イワニガナ	花	3	オオバヤシャブシ	実
4	ウスベニガナ	花	4	ガクアジサイ	実
5	オオアレチノギク	花	5	サカキカズラ	実
6	オオシマカンズゲ	蕾	6	シマクサギ	実が残る
7	オニタビラコ	花	7	トベラ	実
8	カタバミ	花と実	8	ハチジョウキブシ	花芽
9	キュウリグサ	花	9	ヒサカキ	蕾
10	シマテンナンショウ	花	10	ホウライカズラ	熟した実実
11	セイヨウタンポポ	花と実	11	ホルトノキ	実
12	センニンソウ	実	12	マサキ	実
13	タネツケバナ	花と実	13	マンリョウ	熟した実
14	ツルソバ	花と実	14	モクレイシ	実が残る
15	ツワブキ	花と実	15	モチノキ	脱出後の虫コブ
16	ノコンギク	実	16	ヤツデ	花と実
17	ノジスミレの一種	花	17	ヤブツバキ	花
18	ハキダメギク	花	シダ植物		
19	ハチジョウアザミ	花と実	1	イシカグマ	
20	ハナイバナ	花	2	オオイタチシダ	
21	ヒメクグ	実	3	オオタニワタリ	
22	フウトウカズラ	熟した実	4	オニヤブソテツ	
 今回はシダ植物 19 種を含め 58 種の植物を観察しました。草本植物で目につくものは少なく冬枯れを感じさせましたが、シマテンナンショウの花が他の植物に先駆けて咲いていました。			5	タチクラマゴケ	
			6	タチシノブ	
			7	タマシダ	
			8	ナチシケシダ	
			9	ノキシノブ	
			10	ハチジョウカナワラビ	
			11	ハチジョウシダ	
			12	ハチジョウベニシダ	
			13	ヒトツバ	
			14	ホシダ	
			15	ホラシノブ	
			16	マツバラシ	
			17	マメツタ	
			18	ミゾシダ	
			19	ヤマイタチシダ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「アツバスミレ」にスポットを当ててみたいと思います。



アツバスミレ

Viola mandshurica var. *triangularis*

スミレの変種。葉が厚く、表面の光沢があり、形は鉾型、側弁に毛があります。海岸沿いから山頂まで分布しています。花は紫色で大きく、平地では3月初旬～5月上旬に咲きます。植物公園内でも、普通に見られますので探してみてください。

2014 八丈ビジターセンター 2 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は 特別行事があります				1 ガイドウォーク 06 : 37 12 : 10 17 : 55
2 ガイドウォーク 07 : 08 00 : 27 18 : 41 12 : 50	3	立春 4 08 : 04 01 : 35 20 : 11 14 : 12	5 08 : 30 02 : 04 21 : 02 14 : 59	6	 7 08 : 57 02 : 30 22 : 11 15 : 55	8 ガイドウォーク 00 : 26 03 : 12 10 : 16 18 : 39
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 11 : 52 20 : 00	10 04 : 07 08 : 33 13 : 36 20 : 57	11 ガイドウォーク 04 : 28 09 : 35 14 : 43 21 : 40	12 04 : 49 10 : 11 15 : 30 22 : 15	13 05 : 11 10 : 40 16 : 10 22 : 47	14 05 : 33 11 : 07 16 : 46 23 : 17	 15 ガイドウォーク 05 : 54 11 : 34 17 : 20 23 : 46
16 ガイドウォーク 06 : 17 12 : 01 17 : 54	17 06 : 40 00 : 14 18 : 28 12 : 30	18 07 : 04 00 : 43 19 : 04 13 : 01	雨水 19 07 : 28 01 : 11 19 : 43 13 : 35	20 07 : 53 01 : 40 20 : 27 14 : 14	21 08 : 21 02 : 11 21 : 25 15 : 01	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「ホタル水路自然観察会」 08 : 52 02 : 46 22 : 59 16 : 03
 23 ガイドウォーク 09 : 35 03 : 34 17 : 31	24 01 : 29 05 : 13 10 : 53 19 : 10	25 03 : 03 07 : 45 12 : 56 20 : 27	26 03 : 51 09 : 07 14 : 24 21 : 25	27 04 : 28 09 : 57 15 : 28 22 : 12	28 05 : 01 10 : 37 16 : 21 22 : 54	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

2 / 9 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15 名

八丈学講座

「ホタル水路自然観察会」

毎月行っている八丈学講座。

2 / 22 (13 : 30 ~ 約1時間半)

中学生以上 鴨川ホタル水路集合・解散 参加費 : 50 円 定員 : 15 名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2014.2.1 第153号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話 : 04996-2-4811 Fax : 04996-2-4888

編集後記

八丈小島がクロアシアホウドリの大繁殖地になって、アホウドリも降りたって、さらにコアホウドリも降りたって、八丈小島がアホウドリ類の楽園になる。遠い未来ではなく、すぐその未来かもしれないと思うと嬉しくなってきます。(高)